

第4回 和光市部活動地域移行検討委員会 議事録

日 時	令和8年1月23日（金）午前9時00分～午前10時30分
場 所	和光市中央公民館 会議室1
出席委員	横山委員 朽木委員 塚田委員 島崎委員 川端委員 粕谷委員 富澤委員

1 開会・挨拶

実証事業の進展と国の新ガイドラインを踏まえ、今後の和光市の部活動地域展開の方向性について意見をいただきたいという趣旨のあいさつ

2 実証事業の報告

- ・ ソフトテニス：毎回約30名が参加し、専門性ある指導者による指導が好評
 - ・ サッカー：二中・三中から7名参加。レベル差による課題はあるが、生徒は意欲的
 - ・ 吹奏楽：文化振興公社・音大との連携により250名以上が参加する取組を実施
- ※ 教育委員会で行ったものではないが、文化振興公社で行っているこの活動は、実証事業に近いものとして共有

<成果>

- ・ 地域指導者による専門的な学びが実現した。
- ・ 子供が地域と関わる貴重な機会となり、満足度も高い。

<課題>

- ・ 周知期間の短さ、安全管理（行き帰り・欠席連絡など）、活動場所の偏り、大会参加の扱いなど

3 今後の方向性（国の動向を踏まえて）

- ・ 国は「地域移行」から「地域展開」へと方針転換
- ・ 委員からは「やれる種目から早期に開始すべき」と前向きな意見多数
- ・ 保護者への周知強化、市として明確なビジョンの提示が必要

4 主な論点

- ・ 人材確保、安全管理、費用負担、種目拡大（卓球・バスケ・バレー等）
- ・ 近隣市（朝霞四市）の動向

5 まとめ

- ・ 実証を通して課題と成果が明確化し、和光市として地域展開のスタートラインに立った。
- ・ 今後は市の方針を基に具体的な展開を進める必要がある。

6 最終的な方向性

- ・ 部活動の地域展開を進める方向性で合意
- ・ 教育委員会への報告書を作成し、2～3月の定例会で報告予定
- ・ 検討委員会としての会議は今回が最終を予定